

(1) 平成30年度横浜市社会教育コーナー管理運営報告書

事業対象施設 横浜市社会教育コーナー 横浜市磯子区磯子3-6-1-1

事業期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

管理運営団体 特定非営利活動法人 横浜市民アクト

1 生涯学習・地域活動団体（個人）へ安全・安心な場の提供

1) 開館日数：345日

休館日（原則毎月第1月曜日&年末年始 全20日）

2) 利用率・利用人数・利用コマ数（別紙：(5) 利用状況年間報告書）

3) 登録団体数：382団体（平成31年3月31日現在）

分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数	分野	登録数
テニス	110	卓球	5	太極拳	17	ヨガ	4	体操	12
ダンス	41	踊り	4	武道	3	朗読	4	生花	3
詩吟	1	合唱	51	器楽	17	絵画	13	水彩画	9
書道	8	手工芸	5	ゲーム	2	外国語	7	俳句	3
歴史文学	2	パソコン	0	自治会	1	管理組合	10	健康福祉	3
地域市民活動	27	高齢者福祉	0	子育て支援	7	青少年育成	6	その他	7

成果：

① 利用率、利用者数増加への取組

- ・25年5月から実施している「利用希望日の1週間前に部屋等が空いていたら、利用団体が持っている予約コマ数に関係なくどの部屋でも利用可能」とした取組が定着してきている。
- ・26年7月より全施設において、1団体あたりの利用予約数を3コマから5コマへ増やした。
- ・利用団体・利用者数増の取組を行っている。登録団体では「ヨコハマコーラルフェスト」プログラムではコーナーの宣伝を行った結果、昨年より7団体利用が増えた。利用者数では、磯子区生活支援課主催の「磯子べんきょう会」が週2回夜間利用を始めた。昨年は「衛生配管修繕工事」が3カ月間実施され、利用者数が14,000人程度減ったが、今年度は平成28年当時の利用者数に戻った。

② UR機構との連携強化

- ・当施設は、UR機構が管理する「磯子3丁目団地」1号棟の1階部分に設置されている。団地事務所や担当部署とコミュニケーションを図り、連絡等を密に行い、様々な対処をした。

③ 開館・閉館時間の厳守

- ・決まった時間の開館・閉館を職員（アルバイト含む）全員に意識徹底させ、コミュニケーション良く行った。また窓口では利用者の立場に立った分かりやすい受付案内に努めた。

④ 安全安心をモットーの施設運営

- ・安全、安心な利用をモットーに施設内の保全状況等をチェックし、計画的な修繕と業者による定期点検、清掃作業、併せて日頃の業務を通しての点検などに努めた。

⑤ 事務所内での情報の共有

- ・職員はローテーション勤務のため、普遍的な認識と情報の共有が必要となる。その解決のため、夜間ア

アルバイトを含めた全員共通の日報、連絡帳の活用及び定期的な事務所会議の実施により、サービスのばらつきや不公平な対応防止に努めた。

- ・ 守秘義務の履行、個人情報保護の遵守、情報公開規定による適切な対応を心掛けた。

2 施設の防災・防犯対策

① 緊急時での対応

- ・ 緊急時、教委、消防・警察への連絡内容（対応マニュアル）を作成し事務所内に掲示。職員への周知を行なった。過去数回、急病人発生のため救急車の要請をしたが、職員は迅速な対応を行った。
- ・ 怪我人や病人、盗難等の発生時の対応もマニュアルを作成し、アルバイトを含め職員全員へ配布。その時慌てないために、事務所会議などで周知確認を行った。また、救急救命訓練を実施し、AEDの使い方の確認などを行った。

② 館内平面図で確認

- ・ 消火設備や警報装置、避難経路の平面図を各部屋に掲示。年2回の防災訓練時の確認と併せ消火器の設置場所が直ぐ分るよう表示をしている。

③ 災害対策

- ・ 磯子区は海に近く地震等発生時に津波が発生する可能性がある。また遠距離からの利用者もあることなどから、有事の際の一時帰宅困難者対応も含め様々な情報を集めリーフレットにまとめている。
- ・ 地震等災害発生時の対応として、役割分担を明確にし、スムーズに避難誘導・消火活動に務められるよう防災訓練時に確認を行った。

3 生涯学習・社会教育に関する相談・コーディネート・情報提供

① 相談内容の特徴と取組

- ・ 市民個人に対し講師や団体・サークル、イベント、講座等の情報提供を行った。（30年度：60件）
- ・ 市内外の施設職員や中間支援機関（支援センター）など生涯学習関係職員から講師の紹介や事業プログラムの組み立て、会議の考え方や進め方などの相談も寄せられ対応してきた。（30年度：7件）
- ・ 「学校・地域コーディネータ」からの相談も昨年に引き続き実施した。（30年度実績：2件）
- ・ 30年度は、生涯学習文化財課と共に市内各区の生涯学習関係職員や中間支援組織へ出前研修と、研修実施後のフォローアップを行い、区が抱えている課題の解決を図った。（30年度訪問区：旭・港南・瀬谷・南） また、そうした実績から、各区が抱えている課題や現状の分析を行った。
- ・ サークル団体情報提供の際、持ち帰ってゆっくり検討できる利用登録団体会員募集冊子が大変役に立っている。

② 相談カードの作成

- ・ 相談カードを作成し、それを毎月まとめ全員に回覧、相談内容とその対応内容等について情報共有した。職員全員が同じ情報を持つことは無理でも、情報源を共有することは大切で今後も続けていきたい。

4 社会教育コーナーの評価・検証

① 利用者会議（別紙「平成30年度横浜市社会教育コーナー利用者会議報告書」参照）

- ・ 普段利用している登録団体の代表者による懇談会。ご利用の際気付いたことや利用者アンケートで出

てきた問題についても相談しあい、今後の管理・運営に活かしていくことを目的に実施している。

・参加団体同士の交流もあり、有意義な会議になっている。

② 利用者アンケート（別紙「利用者アンケート集計結果」参照）

・登録団体から施設の利用に関してご意見を頂き、管理運営に活かしていく事を目的に実施。

日程：11月1日（木）～12月3日（月）の間実施

回答数：121団体

頂いたご意見をまとめ、利用者会議で討議した後、それに対する回答と共に館内に貼りだし周知した。

③ 事業アンケート

・事業（主に講座）実施の最後に受講者に向け実施。今後の事業開催に活かしていく事を目的に実施。

・会場・設定時間・（曜日）・講師・スタッフなど各項目と記述を含め記入いただける工夫をした。

④ ご意見箱の設置と窓口対応

・気軽にご意見が頂けるよう事務所窓口に設置、また利用報告書にも記入欄を作っている。

・窓口では相手が話しやすい雰囲気と簡潔にまた丁寧な対応を職員全員心掛け、相手に伝わる工夫をしている。

5 業務に関する研修

① 施設の管理運営に関する研修

・労務・経理研修：2名参加

・防災訓練：全員参加

・救命救急訓練：全員参加

② 個人情報保護に関する研修

実施日：8月6日（月）参加者：13人

テーマ：「個人情報保護に関する法律」・「横浜市個人情報の保護に関する条例」の確認、29年に改正された内容について注意点等を学ぶ、併せて「マイナンバー」の取り扱いについての確認を行った。

③ 生涯学習等に関する研修

・横浜市教委主催研修をはじめ、市民局の事業や各分野の定例会等多岐にわたり参加。今後の業務に活かせるよう職場内で情報の共有を行った。

(2) 平成30年度保守管理維持管理報告書

業務	頻度		備考	実施年月日	実施結果
設備建物維持管理 (建築・電気・消防設備)	1回/月	管理者点検	スタッフによる点検(業者による点検月を除く)	別紙「設備点検報告書」のとおり	
	3回/年	定期点検	業者による点検	別紙「設備点検報告書」のとおり	
空調設備の清掃点検	1回/月	管理者点検	スタッフによる点検	別紙「設備点検報告書」のとおり	
	1回/3か月	定期点検	業者によるフィルターの清掃・点検	別紙「設備点検報告書」のとおり	
第一種特定製品点検 (空調設備)	4回/年	管理者点検	フロン排出抑制法上の簡易点検(管理者点検)	別紙「簡易点検チェックシート」のとおり	
エネルギー管理標準	1回/月	定期点検	横浜市地球温暖化対策実行計画・節電小エネ対策	別紙「チェックリスト」のとおり	
消防用設備点検	2回/年	定期点検	消防法上定期点検	平成30年5月7日	異常なし
				平成30年11月5日	異常なし
自動ドア点検	2回/年	定期点検	自動ドア専門メンテナンス(法定点検)	平成30年4月12日	異常なし
				平成30年10月18日	異常なし
非常通報装置点検	2回/年	定期点検	専門メンテナンス	平成30年5月7日	異常なし
				平成30年11月5日	異常なし
防火対象物点検	1回/年	点検	消防法上必要書類一式点検及び館内点検	平成30年5月7日	異常なし
清掃業務	毎日	日常清掃	スタッフによる各部屋とトイレ・回廊等の清掃		
	1回/2か月	定期清掃	業者による清掃 床のワックス及び網戸・ガラス・換気扇等中心	平成30年4月2日・6月4日・8月6日・10月8日・12月3日平成31年2月4日	
	1回/2か月	定期清掃	スタッフによる清掃(業者による清掃月を除く)		
小破修繕	随時			下欄内訳のとおり	

小破修繕内訳			
対応月	内容	対応月	内容
4月	印刷機廃棄	9月	パソコン環境整備(ソフト修繕)
5月	蛍光管交換	11月	研修室B・C壁穴修繕、パソコンルーター修繕
6月	ウオータークーラー廃棄 消防用設備誘導灯交換	1月	蛍光管取替
		3月	消防用設備誘導灯交換

(3) 横浜市社会教育コーナー 生涯学習事業（自主事業）報告書

事業目標 1

生涯学習・社会教育に関する情報の受発信並びに相談コーディネートの充実を図る

① ホームページの充実

コーナー自主事業をはじめ市内を中心とした講座・イベント・登録団体の会員募集团体情報をはじめ、併せて関係する機関等の紹介も行った。

② メンバー募集冊子の作成&配布

活動団体の課題の一つに会員の減少がある。そうした団体の安定した運営を図る事を目的に登録団体にダイレクトメールを発送、希望団体の情報をまとめ「会員募集团体一覧」を700冊作成。磯子区内市民利用施設や18区の生涯学習支援センターへ配架と配布を依頼した。

③メンバー募集情報のホームページ掲載

上記団体情報を冊子配布と併せ、社会教育コーナーホームページにも掲載し、周知の広がりをおねらった。ホームページを見ての問い合わせもあった。

④ 情報の集約

市内18区の生涯学習・市民活動支援センターや大学、施設、機関の定期発行者（リーフレット・情報紙・グループ情報誌・ボランティア講師情報誌など）を集約し配架、相談や情報提供に役立てた。

⑤ 館外掲示

団体のイベント・講座のチラシやポスターを道路わきの「掲示板」に貼り出し、コーナー横を通る人を館内へ誘導し情報の提供へつなげた。

⑥ メルマガ発行

横浜市内を中心に生涯学習関連のイベント・講座や活動に役立つ内容などの情報を収集し毎月定期的に発行。平成31年3月現在622件の登録がある。

⑦ 相談コーディネートの充実

- ・市民個人に対し講師や団体・サークル、イベント、講座等の情報提供を行った。(30年度：60件)
- それに加え市内外の施設職員や中間支援機関（支援センター）など生涯学習関係職員から講師の紹介や事業プログラムの組み立て、会議の考え方や進め方などの相談も寄せられ対応してきた。(30年度：7件)
- ・27年度から学校を中心にして活動しているコーディネーターに対し、インターネットや電話での相談にも応じ、課題解決への道筋をつけた。(30年度実績：2件)
- ・30年度は、生涯学習文化財課主催の「出前研修」とその後のフォローアップを実施し、各区が抱えている課題や現状の解決を図った。(実施区：南・港南・旭・瀬谷)
- ・サークル団体情報提供の際、持ち帰ってゆっくり検討できる会員募集冊子が大変役に立っている。

事業目標 2

学校教育・社会教育の人材育成の強化と支援の充実を図る

① 学校・地域コーディネーターのネットワーク

目的：学校・地域コーディネーター養成講座（市教委主催）修了生の活動現場での課題の共有、情報交換を定期的に行い、課題解決などを行う。

日程：4月～3月基本毎月第2水曜日10：00～12：00（全8回）

対象：学校・地域コーディネーター連絡会会員

参加人数：96人（延べ人数）

内容：活動している各校の取組状況の紹介、先進事例校の見学、活動に関して課題や悩みを相互に聞きあい、解決への糸口を一緒に考えている。

成果：常時10人以上が参加し、他情報交換を行うとともに、学校地域フォローアップ講座の企画運営も担うことで、各々のスキルアップを図っている。

課題：連絡会への参加人数が固定してきた。が、現在数区だが区ごとでのコーディネーターの集まりが始まっている。こうしたことも踏まえ、今後の活動の方向性を探っている。

② Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム（共催：Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム実行委員会）

目的：平成19年度から始まった学校・地域コーディネーターの活動を広く知ってもらうことを目的に地域（企業やNPOなど）と学校がつながり、子どもたちの学習支援を進める。

日程：9月8日（土）10：00～15：30

対象：学校地域コーディネーター・学校関係者・学校支援ボランティア関係職員・一般市民・企業

内容：教育支援プログラムを持っている企業・NPO・大学などと、学校をつなぐプログラム見本市と交流会を行う。30団体（企業）のプログラムが揃い、活発な情報交換が行えた。

参加者数：278人

成果：学校・地域コーディネーター連絡会が母体となり実行委員会を立ち上げ開催した。交流会では「オール横浜で子ども達の未来を考えよう」をテーマに話し合い、参加者同士の交流と情報交換ができた。次年度は教育委、学校支援・地域連携課の主催で開催予定。

③ 学校地域コーディネーターフォローアップ講座（共催：学校・地域コーディネーター連絡会）

目的：学校と地域を結ぶコーディネート活動の充実

日程：11月14日（水）・1月9日（水）10：00～12：30（全3回）

内容：コーディネーターが、それぞれの学校で活動するときに役に立つ内容として、「これからの英語教育」「教育格差」などについて学んだ。

参加者数：82人（延べ人数）

成果：コーディネーターは、それぞれの学校で活動しているので、相談相手がいないことが多い。他校の状況を知り、課題の情報共有が図れ、社会的課題の学びあいができ、好評であった。

④ 保育ボランティア「ダリア」

目的：保育ボランティアグループとして、母親の学習支援を行う。

日程：4月～3月10：00～12：00（全11回）

対象：一般市民

参加者：7人

内容：ボランティア活動に必要な知識や技術のスキルアップや実習。

成果：昨年実施した「保育ボランティア養成講座」の目的である、ボランティアグループ「ダリア」ができ、少しずつグループで活動する楽しさを深めている。

課題：ボランティアの人数が少ないので、今後も継続的な育成が必要である。

⑤ 家庭教育学級ばんぷきん

目的：乳幼児を持つ親たちがつながり、共に子育てや社会的課題などについて学ぶとともに、社会参加の一步とする。

日程：10月4日（木）～11月3日（土・祝）10：00～12：00（全5回）

対象：就学前の子どもを持つ親

参加者：20組

内容：テーマ「ママの気分転換タイム」～Let's try! Let's enjoy～

子育て中の親の支援という位置付けでの事業。内容は、子育てについての話し合いやおやつ作り、エアロビクスで体を動かし、気持ちをリフレッシュした。

*一時託児は新しくできた「保育ボランティアダリア」に依頼。

成果：20組の親子の参加があった。母親からは、子育て期に講座に参加し、生活に潤いが出たと好評であった。

子どもたちは、別室で保育者と一緒によく遊んだ。

事業目標3

横浜の読書活動を推進する

① 子どもの読書活動推進

・おはなし会ボランティア養成講座（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：学校や地域でおはなし会や読み聞かせの活動をしている人を対象に、基本的な考え方やスキルアップを図るとともに、仲間づくりにつなげる

日程：6月8日（金）～29日（金）（全4回）10：00～12：30

対象：学校や地域でおはなし会や読み聞かせをしている人

参加者数：33人

内容：おはなし会の意義、本を紹介するさまざまな工夫、プログラムの作り方、読み聞かせの実践。

成果：学校で読み聞かせをしている人は、入れ替わりが激しいので、毎年養成講座が必要である。また、活動を継続している人にも学び直しの良い機会となっている。

・おはなし会ボランティア講演会（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：上記の養成講座ではおはなし会の基本を学び、講演会では読書活動に関わる内容を実施。今年は「詩」の朗読を聴き、詩の魅力や声の出し方などを学ぶ。

日程：1月26日（土）10：00～12：30

対象：学校や地域で読書活動をしている人

参加者数：27人

内容：詩の朗読の実演と言葉を伝える大切さや声の出し方の講義

成果：おはなし会で活動する上で必要な、様々な知識の広がりを感じた人が多かった。

・紙芝居講座（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：おはなし会や読み聞かせをしている人に紙芝居の歴史や演じ方の講習を行いスキルアップを図る。

日程：11月30日（金）・12月7日（金）（全2回）10：00～12：30

対象：学校や地域で読み聞かせをしている人、紙芝居に関心のある人

参加者：26人

内容：紙芝居の実演とワーク

成果：昨年まで1回の開催で同じ内容を行っていたが、今年は2回に分けて 絵本の読み聞かせと紙芝居の演じ方の違いや歴史を学ぶことで、今後の活動の幅が広がった。

・手あそび・パネルシアター講座（共催：読書活動推進プロジェクト・後援：磯子図書館）

目的：学校や地域で活動しているおはなし会の実践者等のスキルアップを図り活動の幅を広げる

日程：10月12日（金）10：00～12：30

対象：手あそび・パネルシアターを始めてみたい人

参加者：28人

内容：手あそび11種類の紹介と実演、パネルシアターの説明や実習、実演

成果：パネルシアターについては、説明時に著作権に関わる注意も組み込み、準備の大切さも伝えた。

② 大人の図書室

目的：成人の読書活動推進を目指し、新たな本との出会いと新たな演者の発掘。

日程：2月2日(土) 14:00～16:00

対象：一般成人

参加者：18人

内容：テーマを「泣けるはなし～優しい気持ちになれるとき～」とし、読み語りとおすすめの本を紹介し合うセッションを実施。当日を迎えるまで、数回の練習を設けた。

成果：大人向けに実施。おはなしの好きな大人が参加し定着してきた。

③ おはなしの国

目的：子ども達が本に触れるきっかけとして、またおはなしの国養成講座修了生や地域で活動している人達の実践の場。

日程：5月～3月（毎月第3土曜日）11:00～11:40（全11回）

対象：子どもから大人まで

参加者：203人（延べ人数）

内容：絵本の読み聞かせ、素話（ストーリーテリング）、紙芝居、手遊び・歌遊びなど

成果：コーナーで実施するほかに、子育て拠点で年2回開催し、参加者が定着してきた。

2月16日に、昨年に引き続きおはなしの国に協力してくれている10団体が次年度に向けてスキルアップを図る目的で交流会を開催し、11人が参加した。

④ 大型絵本研究会

目的：現在保存している大型絵本の有効活用と利用啓発を図る

日程：4月～3月

対象：おはなし会や朗読会活動者

利用者数：1団体

内容：おはなし会や学校での活用

成果：磯子図書館主催の学校図書館交流会で紹介した所、問い合わせが来た。

⑤ ブックトーク講座

目的：ブックトークのグループを作るきっかけとしてブックトークの基本を学ぶ。

日程：5月～2月（全8回）9:00～13:00

対象：読み聞かせやおはなし会の経験者

参加者数：7人

内容：実演を交えながらブックトークの基本や子どもと本の出会いの機会をつくる工夫を学ぶ。

成果：7人のメンバーでグループ「BTL コスモス」が立ち上がり、次年度へつながった。発表会は、2月17日に実施。8人の参加者があった。

⑥ 横浜の民話交流会（紙芝居交流会）

目的：市内で活動している紙芝居グループの口演会と交流会を開催する

日程：2月8日（金）10:30～12:15

対象：一般市民

参加者数：22人

内容：中区・金沢区・瀬谷区の伝説や昔話を紙芝居にして活動しているグループの口演会と、交流会。

成果：3区の紙芝居グループの口演会終了後、交流会を設け互いの活動での課題等について話し合えた。

交流の機会をつくる

① おまつりだ！！

目的：近隣住民に社会教育コーナーを知ってもらう啓発事業

日程：4月28日（土・祝）10：00～15：00

対象：子どもから大人まで

参加人数：841人

内容：主催事業の講師や磯子区内NPO等17団体と連携し、コーナー全館を使って「縁日ごっこ、人形劇、工作体験、フリーマーケット、みんなで歌おう、フォークソング演奏、」など実施。

成果：「いそっぴゴールデンウイーク」スタンプラリー（4月22日～5月7日）にも参加し、併行して集客を行ったことで、多くの参加につながった。

② いそっぴゴールデンウイーク スタンプラリー（主催：磯子区館長連絡会）

目的：区内の公共施設がつながってイベントを行うことで、区民に多くの施設を知ってもらい、また職員同士も情報交換等を行うことで、互いの関係性の構築を図る。

日程：4月21日（土）～5月6日（日）16日間

内容：施設を巡るスタンプラリーを実施。スタンプが4つ集まると粗品と交換できる。

参加者数：コーナーに来た人数 617人

成果：磯子区地図と期間内に開催する各施設のイベントが載ったチラシを大量に配布することで、普段利用の無い人の来館があり、「おまつりだ～」の周知もできた。

③ 大掃除&交流会

目的：登録団体が一緒に掃除を体験することによりお互いの活動を知るきっかけとする

日程：12月26日（水）10：00～12：00

対象：登録団体

参加人数：38人（15団体30人+アクト会員）

内容：前半は6～8人のグループで各部屋を掃除。きめ細かく皆で力を合わせ実施。後半はお茶を飲みながらの交流タイム。利用者会議以外で、利用者の意見を聞くいい時間となっている。

成果：普段、交流のない団体同士協力してコーナー全体の清掃を行うことにより、施設を大事に利用する意識の喚起と交流を図る。

④ 親子の広場（共催：ばばばる～ん）

目的：乳幼児を持つ親がつどい、子どもと一緒に遊びを通して交流する。

日程：5月～3月（毎月最終月曜日）10：30～11：30（全10回）

対象：乳幼児と保護者

参加人数：延べ152組の親子（延べ人数）

内容：広いトレーニングルームを利用し、親子一緒にの歌遊びや手遊び、紙芝居や専門家による「食育」の話、また各季節の行事も盛り込んだ。（ハロウィン等）

成果：親子の広場に参加する親子にママフィットネスや家庭教育学級ぱんぷきんを紹介できた。

⑤ 横浜サンタプロジェクト（主催：横浜サンタプロジェクト実行委員会）

目的：企業・学生・NPOが連携してサンタになって横浜に笑顔を届ける。

日程：12月8日（土）12：00～16：00

対象：子どもから大人まで

参加者数：1000人（サンタの人数）

内容：訪問サンタ（子どもの福祉施設）、清掃サンタ、ステージサンタ、ブースサンタ、ドライブサンタがあり、子ども達が主役になって一日を楽しむ。

成果：年ごとに参加するサンタが増えると同時に、広場での集客も1000人以上となっている。

⑥ 和布であそぼ

目的：裁縫という手法を使って気軽に集まり、おしゃべりを楽しむ。

日程：7月24日・11月27日（火）10：00～12：30

対象：一般市民

参加者数：42人（延べ人数）

内容：手ぬぐいぼうしとエコバッグ作り

成果：おしゃべりしながら、和布で簡単な裁縫をすることで、参加者の交流が深まった。

⑦ 盆栽カフェ（共催：NPO法人アクションポート横浜・石井造園（株））

目的：小さな盆栽の楽しみ方を知り、参加者同士交流を深める。

日程：4月8日（日）～3月3日（日）13：30～16：30（全9回）

参加者数：123人（延べ人数）

内容：松ぼっくりの苔玉作りや寄せ植え等を体験しミニ盆栽を楽しむ。

成果：単発事業に関わらず、リピーターが多く、続けて受講しても楽しめる講座となった。親子での参加や夫婦での参加もあり、対象を広く考える視点をもらった。

学習機会の提供

① はじめてのみずあそび（協力：磯子区地域子育て拠点いそピヨ）

目的：乳幼児が安全にみずあそびを体験できるようボランティアのサポートのもと行い、併せて親同士の交流の場を図る。

日程：7月31日（火）・8月2日（木）・3日（金）11：00～11：40（全3回）

対象：0歳～2歳の子どもと親

参加者数：42組の親子（延べ人数）

内容：プールを幾つか用意し、親子が水遊びを楽しんだ。家庭ではなかなかプール遊びができないので、安全に遊ぶ方法も伝えた。

成果：親同士が顔見知りになった。

② ママフィットネス

目的：母親の健康づくり。子どもも同室と一緒に体操を楽しむ。

日程：4月～3月（火）9：40～10：40（全11回）

対象：首が座っている赤ちゃんのママ～未就園児のママ

参加者数：80組の親子（延べ人数）

内容：子どもと一緒に親が体操でリフレッシュする。柔軟体操とリズム体操を組み込んで楽しく自分の時間を過ごす。

成果：継続で参加する親子が多く、当コーナーで開催している「家庭教育学級ぱんぷきん」への導入となった。

また、3か月に1回、しゃべり場（交流の場）を設けたことで、より親しみやすくなったようだ。

③ もうちょっと素敵な自分作り

目的：日常を能動的・行動的に暮らすヒントを得ることで、健康寿命を延ばす。

日程：1月19日（土）13：30～15：00

対象：60歳代からの一般市民

参加者数：15人

内容：正しい歩き方・素敵な立ち姿の実習と講義

成果：参加者の姿勢が来館時と帰宅時では見事に変わった。

④ グットタイムPC

目的：新設団体（健康体操）の安定した活動と参加者の増加を図る。

日程：5月30日・6月6日（水）

対象者：18歳以上の男性

参加者数：2人

内容：簡単な筋肉トレーニングとラジオ体操

成果：2名の参加者数ではコーナーを継続して利用することができないので、無料で利用できる近くのケアプラを紹介し、継続して活動を行っている。

⑤ 自習支援ぱれっとルーム（共催：自習支援ぱれっとルーム）

目的：学習障害を抱えたり、様々な理由で勉強が遅れている子どもの学習支援

日程：4月～3月 毎週木曜日（全48回） 15:00～19:00

参加者数：478人（延べ人数）

内容：小中学生徒の学習支援

成果：継続して、同じ場所での開催が子ども達が学習することへの担保となっている

⑥ アビー先生と始めるのんびりゆっくり英会話

目的：シニア限定初心者に英会話に親んでもらい、仲間づくりを目指す。

日程：10月1日（月）～12月17日（月）（全9回）

対象者：概ね60歳代の英会話初心者

参加者数：13人

内容：7月に1回体験会を開催し、参加者は講師と内容を確認し、10月からの講座に参加した。テキスト（シニアのためのゆっくり英会話）を利用し、教科書に沿って学ぶ。

課題：講座終了後、継続して学びたい人は多かったが、直ぐにグループ化を図るにはおぼつかない状態だった。

そのため、1月から7回の継続講座を企画し、その期間中に各々がグループとして活動していく意思の確認を行った。

成果：継続講座を実施した結果、4月から自立したグループとして活動が始まった。

他機関・団体等との協働

目的：コーナー事業を館内実施だけにとどまらず、広く各方面と繋がることでコーナーを知ってもらい一緒に事業をすることで、顔のみえる関係も構築され業務に活かしていく。

① 横浜山手芸術祭

花と器のハーモニーや横浜山手芸術祭の各実行委員会に参加。事業の一端を担った。

② 磯子区内子育て支援ネットワーク

地域子育て拠点「いそピヨ」と磯子区子ども家庭支援課が中心となり、テーマを基に定期的に話し合いなど行っている。顔のみえる関係が進み、連携して地域別のイベント4か所での開催に協力した。

③ 読書活動推進プロジェクト

市内各地で、子どもの読書活動推進に関わっている人たちと協働して、おはなし会ボランティア養成講座、公開講座、学校図書ボランティア交流会、紙芝居講座等を開催。併せて養成講座修了生の「おはなし会」デビューの支援も行った。

④ 自習支援ばれっとルーム

学習障害を抱え、もしくは様々な理由で学習が遅れている子どもの学習支援を社会的課題支援事業として位置づける。毎週実施し、学習の継続性を担保し、担い手育成の支援も行う。

⑤ 磯子区NPO連絡会

磯子区内のNPOのメンバーとの付き合いの中でコーナー事業への協力も多々あり、相互に情報交換していく中で理解も深まった。磯子区役所から事業の参画依頼（市民活動フォーラム）もあり今後も目的に沿った活動を進めていく。

⑥ 磯子図書館

例年さまざまな読書活動推進に絡み、磯子図書館の協力をお願いすることが多い中で今年度も養成講座をはじめ各講座の後援支援を受ける。関連本の貸し出しなどをスムーズに受けることができた。また、磯子図書館利用者懇談会の座長も務めている。

⑦ 横浜サンプラザプロジェクト

企業・学生・NPOとの連携を目的に12月のイベントに向け実行委員会に参加した。結果対外的にコーナーの紹介もでき、多くの方とも知り合えた。CSRを実施している企業と市民活動団体の集まりなので実行委員会内での情報共有も盛んに行われ、一部企業とは学校地域コーディネーター事業とも連携している。

⑧ 市内・区内の関係機関・団体

定例の磯子区館長連絡会や子育て支援ネットワークに参加、また「いそご区民活動支援センター」とは普段の相談対応とイベントや講師等の情報交換などで密接につながっている。その他団体主催事業などにも出かけた。今後も「つながり」を大切に業務に活かしていきたい。

社会教育コーナー事業の広報・周知

コーナーの事業を区内はもとより、市内の各種機関や施設に依頼して広く広報を行っている。今年度も事業内容により配布先にメリハリをつけて周知していった。また連絡会など顔を合わせる機会での周知や近隣施設などへは直接出向き配架並びに配布の依頼を丁寧に行った。今後も職員全員が動ける体制で臨みたい。

平成30年度 生涯学習事業(自主事業)一覧

事業分類	事業名	回数	時期	受講料(円)	対象	募集人数(人)	参加者数(人)	受講料収入(円)
学校教育・社会教育の人材育成の強化と充実	家庭教育学級ぱんぶきん	5	10月～11月	2,500	未就学児の親	20組	20組(154)	0
	保育ボランティア「ダリア」(定例会)	13	4月～3月	0	一般		75	0
	保育ボランティア「ダリア」活動日	21	ママフィットネス・みずあそび・家庭教育学級開催日等	0	一般	89	89	0
	横浜学校・地域コーディネーター連絡会	8	4月～3月	0	養成講座修了生	随意	96	0
	Yokohama 学校地域コーディネーター・フォーラム	1	9月8日	0	一般	随意	278	0
	学校地域コーディネーターフォローアップ講座	2	9月～1月	0	コーディネーター	60	82	0
横浜の読書活動を推進する	おはなし会ボランティア養成講座	4	6月	1500	一般	30	33	0
	おはなし会ボランティア講演会(詩の朗読を味わおう、楽しもう!!)	1	1月26日	800	一般	50	27	0
	紙芝居講座	2	11月30日 12月7日	1,000	一般	30	26	0
	手あそび・パネルシアター講座	1	10月12日	600	一般	30	28	0
	大人の図書室	1	8月4日 2月2日	500	一般	30	38	0
	おはなしの国	11	5月～3月	0	大人から子どもまで	随意	203	0
	おはなしの国(交流会)	1	2月	300	一般	11	11	3,300
	大型絵本研究会(絵本貸出)		4月～3月	0		随意	1冊	0
	ブックトーク「BLTコスモス」	8	5月～3月	0	一般		56	0
	ブックトーク発表会	1	2月17日	300	一般	30	8	0
	横浜の民話交流会(紙芝居上演会)	1	2月8日	0	一般	随意	22	0
横浜の民話交流会(紙芝居交流会)	1	2月8日	100	一般		16	1,600	
交流の機会をつくる	おまつりだ!	1	4月28日	0	大人から子どもまで		841	0
	いそびゴールデンウィークスタンプラリー	16	4月21日～5月6日	0	大人から子どもまで		617	0
	大掃除&交流会	1	12月26日	0	登録団体	30	38	0
	親子の広場	10	5月～3月	150	乳幼児と親	230組	152組(486)	0
	横浜サンタプロジェクト	1	12月8日		一般		1000	0
	和布であそび	2	7月24日 11月27日	500	一般	25	42	21,000
	盆栽カフェ	10	5月～3月	2,500～3,000	一般	135	123	0
学習機会の提供	はじめてのみずあそび	3	7月末～8月	150	乳幼児と親	45組	42組(97)	6,300
	ママフィットネス	11	4月～3月	1,000	未就学児と母親	143組	80組(172)	80,500
	もうちょっと素敵な自分づくり	1	1月19日	1,000	60歳以上	15	15	15,000
	グットタイムCP	2	5月30日 6月6日	500	男性	10	2	2,000
	アビー先生と始めるのんびりゆっくり英会話(体験会)	1	7月	500	一般	20	19	9,500
	アビー先生と始めるのんびりゆっくり英会話(前期)	9	10月～12月	9,000	一般	20	13	117,000
	アビー先生と始めるのんびりゆっくり英会話(後期)	7	1月～3月	7,000	一般	若干名	9	63,000
	自習支援ぱれっとルーム	48	4月～3月		小・中学生		478	0
計						参加者総計5,145人	319,200	

平成30年度 「横浜市社会教育コーナー」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	12,586,000		12,586,000	12,586,000	0	横浜市より
利用料金収入	3,500,000	0	3,500,000	3,468,650	31,350	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0	0	0	0	0	
自主事業収入	247,900	300,000	547,900	720,795	172,895	ふれあい助成金含
雑入	300,000	0	300,000	301,121	1,121	
印刷代	220,000	0	220,000	205,993	14,007	コピー等
自動販売機手数料	75,000	0	75,000	91,628	16,628	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（シャワー）	5,000	0	5,000	3,500	1,500	シャワー
収入合計	16,633,900	300,000	16,933,900	17,076,566	142,666	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,980,000	0	10,980,000	13,065,089	2,085,089	
給与・賃金	9,000,000		9,000,000	10,972,631	1,972,631	夜間スタッフ含む(事務局員除く)1262631
社会保険料	1,300,000		1,300,000	1,320,173	20,173	
通勤手当	650,000		650,000	718,511	68,511	
健康診断費	30,000		30,000	53,774	23,774	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
事務費	1,905,000	0	1,905,000	1,486,271	418,729	
旅費	50,000		50,000	28,517	21,483	
消耗品費	500,000		500,000	472,833	27,167	
会議賄い費			0	5,000	5,000	
印刷製本費	250,000		250,000	226,037	23,963	
通信費	154,000		154,000	134,386	19,614	
使用料及び賃借料	40,000	0	40,000	69,200	29,200	
横浜市への支払分	10,800		10,800	38,400	27,600	自販機目的外使用・減免対象利用料戻入
その他	29,200		29,200	30,800	1,600	利用料金返金
備品購入費	200,000		200,000	0	200,000	
図書購入費	16,000		16,000	9,900	6,100	社会教育
施設賠償責任保険	70,000		70,000	59,920	10,080	
職員等研修費	10,000	0	10,000	1,000	9,000	
振込手数料	30,000		30,000	34,028	4,028	
リース料	435,000		435,000	372,600	62,400	コピー機、リソ リース・モップ
手数料	150,000		150,000	72,850	77,150	広告掲載料含
地域協力費			0	0	0	
事業費	366,600	300,000	666,600	819,475	152,875	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	0		0	0	0	
自主事業費	366,600	300,000	666,600	819,475	152,875	HP管理費含
管理費	2,690,000	0	2,690,000	3,037,913	347,913	
光熱水費	1,428,000	0	1,428,000	1,428,994	994	
電気料金	1,400,000		1,400,000	1,238,319	161,681	
ガス料金	10,000		10,000	8,308	1,692	
水道料金	18,000		18,000	182,367	164,367	
清掃費	630,000		630,000	971,840	341,840	
修繕費	300,000		300,000	301,535	1,535	
機械警備費	142,000		142,000	142,560	560	設備総合巡視点検業務委託費(総合警備保障)
設備保全費	165,000	0	165,000	167,400	2,400	
空調衛生設備保守	48,000		48,000	48,600	600	建物設備点検
消防設備保守	79,000		79,000	79,920	920	
電気設備保守	38,000		38,000	38,880	880	自動ドア
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	0	0	
共益費	25,000		25,000	25,584	584	共益費・共用物使用割賦金
公租公課	652,300	0	652,300	837,000	184,700	
事業所税			0	0	0	未確定
消費税	652,300		652,300	837,000	184,700	未確定
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費	40,000		40,000	78,268	38,268	ピアノ調律等
支出合計	16,633,900	300,000	16,933,900	19,324,016	2,390,116	
差引	0	0	0	2,247,450	2,247,450	

自主事業費収入				720,795		
自主事業費支出				819,475		
自主事業収支				98,680		

管理許可・目的外使用許可収入				91,628		
管理許可・目的外使用許可支出				38,400		
管理許可・目的外使用許可収支				53,228		

平成30年度利用料金収入

単位：円

月	利用料金収入								その他の収入				累計
	研修室A/B	研修室C	アートルーム	トレーニングルーム	スポーツ広場	付帯設備	返金	小計	印刷・コピー代	シャワー	自販機売上	小計	
4月	44,400	48,000	68,800	80,000	73,700	14,800	4300	325,400	12,743	0	6,888	19,631	345,031
5月	40,800	41,000	65,600	86,400	52,900	9,900	2000	294,600	12,839	700	9,051	22,590	317,190
6月	39,000	36,000	91,200	69,600	35,300	5,700	2650	274,150	10,901	0	4,844	15,745	289,895
7月	45,600	41,000	67,200	89,600	44,900	9,000	3100	294,200	6,381	1,500	5,367	13,248	307,448
8月	51,000	41,000	65,600	79,200	49,900	9,000	3000	292,700	7,434	600	10,025	18,059	310,759
9月	52,800	58,600	116,800	99,200	43,300	11,900	5600	377,000	22,085	400	5,202	27,687	404,687
10月	54,000	39,000	60,800	84,000	49,300	8,200	1000	294,300	5,780	200	17,079	23,059	317,359
11月	54,000	44,000	64,000	77,600	43,300	7,900	1800	289,000	28,693	100	0	28,793	317,793
12月	57,000	37,000	100,800	89,600	37,500	9,600	1650	329,850	5,755	0	5,509	11,264	341,114
1月	44,400	37,000	60,800	75,200	42,300	5,700	800	264,600	7,692	0	5,368	13,060	277,660
2月	22,200	23,000	-3,200	4,800	16,050	0	2700	60,150	37,743	0	5,652	43,395	103,545
3月	79,200	45,000	46,400	76,800	52,400	44,300	2200	341,900	47,947	0	5,843	53,790	395,690
計	584,400	490,600	804,800	912,000	540,850	136,000	30,800	3,437,850	205,993	3,500	80,828	290,321	3,728,171

平成30年度横浜市社会教育コーナー利用状況年間報告書

部屋別及び時間帯別

		研修室 A	研修室 B	研修室 C	アート ルーム	トレー ニング ルーム	交流ス ペース	スポー ツ広場	合計	午前	午後	夜間	合計
利用人数 (単位:人)	本年	5,747	4,811	4,985	12,390	11,005	2,826	2,521	44,285	19,955	14,532	9,798	44,285
	前年	4,218	3,480	3,833	7,353	9,709	2,422	2,042	33,057	16,362	11,861	4,834	33,057
利用コマ数	本年	372	309	544	584	1,218	422	582	4,031	1,802	1,480	749	4,031
	前年	279	253	428	385	1,009	315	443	3,112	1,442	1,154	516	3,112
総コマ数(30年度)		969	969	969	969	1,938	969	1,278	8,061	3,043	3,046	1,953	8,042
利用率	本年	38.4%	31.9%	56.1%	60.3%	62.8%	43.6%	45.5%	50.0%	59.2%	48.6%	38.4%	50.1%
	前年	38.8%	35.1%	59.4%	53.5%	70.1%	43.8%	49.4%	52.4%	64.5%	51.4%	35.4%	52.4%
利用率前年対比		133.3%	122.1%	127.1%	151.7%	120.7%	134.0%	131.4%	129.5%	125.0%	128.2%	145.2%	129.5%

月別合計数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数 (単位:人)	本年	4,006	3,311	3,726	3,829	2,629	4,624	4,121	4,664	3,257	3,251	3,321	3,546	44,285
	前年	4,779	2,950	3,936	3,891	0	0	0	3,719	3,460	3,171	3,487	3,664	33,057
利用コマ数 (※1)	本年	337 (254)	336 (246)	338 (264)	359 (259)	283 (188)	344 (276)	364 (281)	357 (284)	311 (235)	317 (232)	325 (245)	360 (263)	4,031 (3,027)
	前年	349 (260)	328 (250)	354 (279)	391 (283)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	354 (309)	317 (244)	327 (251)	343 (258)	349 (290)	3,112 (2,424)
総コマ数(30年度)		677 (486)	687 (498)	674 (498)	703 (504)	710 (510)	657 (480)	718 (516)	678 (486)	600 (438)	609 (438)	629 (456)	700 (504)	8,042 (5,814)

※1:()内数字は研修室A~C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分のコマ数

利用率 (※2)	本年	52.3%	49.4%	53.0%	51.4%	36.9%	57.5%	54.5%	58.4%	53.7%	53.0%	53.7%	52.2%	52.1%
	前年	52.8%	50.8%	56.0%	56.2%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	55.7%	56.5%	56.5%	56.9%	56.1%
利用率前年対比		97.7%	98.4%	94.6%	91.5%				91.9%	96.3%	92.4%	95.0%	90.7%	124.9%

※2:利用率は研修室A~C・アートルーム・トレーニングルーム5部屋分となります。上記「月別合計数」表内の()内数字で計算

利用率向上への取組

タウンニュースや「ヨコハマコーラルフェスト」等で、コーナーのPRを行い、音楽団体が7団体増えた。
磯子区生活支援課主催の「磯子べんきょう会」が週2回、定期的に夜間のアートルームを利用し、年間91回の利用増となった。

平成 30 年度 横浜市社会教育コーナー利用者会議議事録

日 時:平成 31 年 2 月 26 日(火)14 時~15 時 30 分

会 場:研修室 C

出席団体:だんかぼん 五十嵐、オールウエイズ 田口、リトルフェアリー 丸木、
太極拳月曜会 田口

事務局:横浜市社会教育コーナー 事務長 福島、職員 小野
横浜市教育委員会事務局 生涯学習文化財課 松澤

利用者会議議題:

1. 報告 平成 30 年度 横浜市社会教育コーナーについて
 - ① 施設管理・保安状況
 - ② 利用者アンケート結果
 - ③ 事業について
2. 提案 会場申込み方法について
3. 質疑 アンケートや施設管理、事業について
4. その他意見交換

挨拶 社会教育コーナー 事務長 福島
横浜市教育委員会事務局 生涯学習文化財課 松澤

1報告 平成 30 年度 横浜市社会教育コーナーについて

- ① 施設管理・保安状況
- ② 利用者アンケート結果
- ③ 事業について

事務長福島が、それぞれ別紙「横浜市社会教育コーナー施設管理・保全状況」、「平成 30 年度利用者アンケート集計結果」、「横浜市社会教育コーナー平成 30 年度事業計画」を用いて説明しました。

2提案 会場申込み方法について

職員小野が、2019 年 6 月 1 日利用受付開始「利用申し込み(8 月分利用)」からの受付方法の一部変更について、説明し、承認を得ました。

3質疑 アンケートや施設管理、事業について

この度は、利用者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。お陰さまで121 の団体の協力のもと、集計ができました。

いただきましたご意見について

(1) ピアノの位置と調律について

ピアノの乾燥を防ぐため、壁に付けての設置の変更はできません。また、調律は年 2 回行っています。

(2) アートルームの窓の光について

黒のカーテンをご利用ください。

- (3) トレーニングルームの3時間使用について
部屋の利用目的の如何に関わらず、2時間の利用でお願いします。
- (4) スポーツ広場について
当コーナーは、UR 磯子3丁目団地の1階にあります。そのため、2階以上は住居のため、夜間の使用や大きな音の出る壁打ちはできません。また、公園に設置してある時計の管理はUR事務所のため、時間の遅れなどは気が付いた時に連絡をしています。
また、テニスボールは利用者が置いていったものです。
- (5) 説明が足りないことについて
誠に申し訳ありません。今後ともご利用方法などについては丁寧に対応してまいります。
- (6) 施設利用の申請方法について
毎月1日に会場利用の申し込みを行っています。先着順のため、当コーナー開館の時間までに多くの方が外に並んでいました。そうした現状を改善するため、新しい申し込みの方法を考えましたので、3月1日から3カ月間の猶予期間(説明期間)を設けて順次ご案内を致します。(6月1日会場申込みから実施予定)

4 その他意見交換

参加団体 先日活動中にメンバーが転倒してしまい、救急車をお願いしました。迅速丁寧な対応で、感謝しています。

事務長 当時の担当職員から、団体の管理がきちんとされているので救急隊員への受答えもスムーズなうえ、2名も付き添われたので安心したと聞いています。

閉会 事務長より、本日は、ありがとうございました。予定通りの議事が終了しましたので終わりにします。

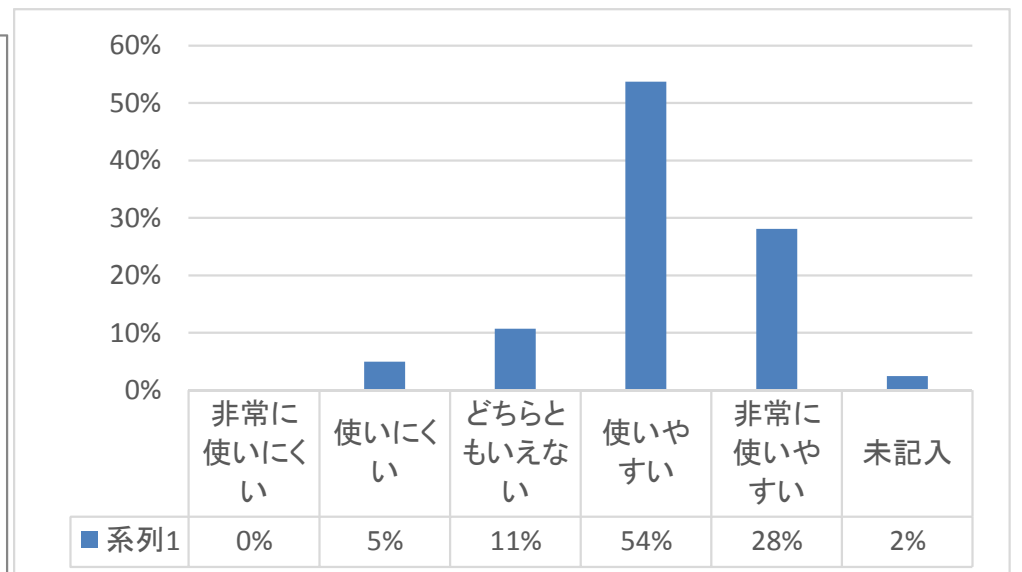
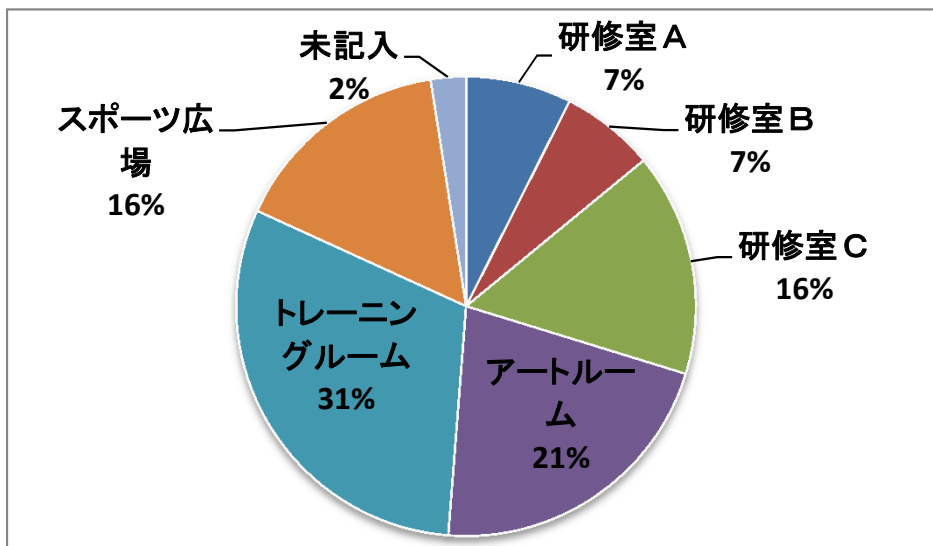
平成 31 年 2 月 26 日

事務長 福島 伸枝

H30年度 利用者アンケート集計結果

1. いつも利用される部屋はどこですか。

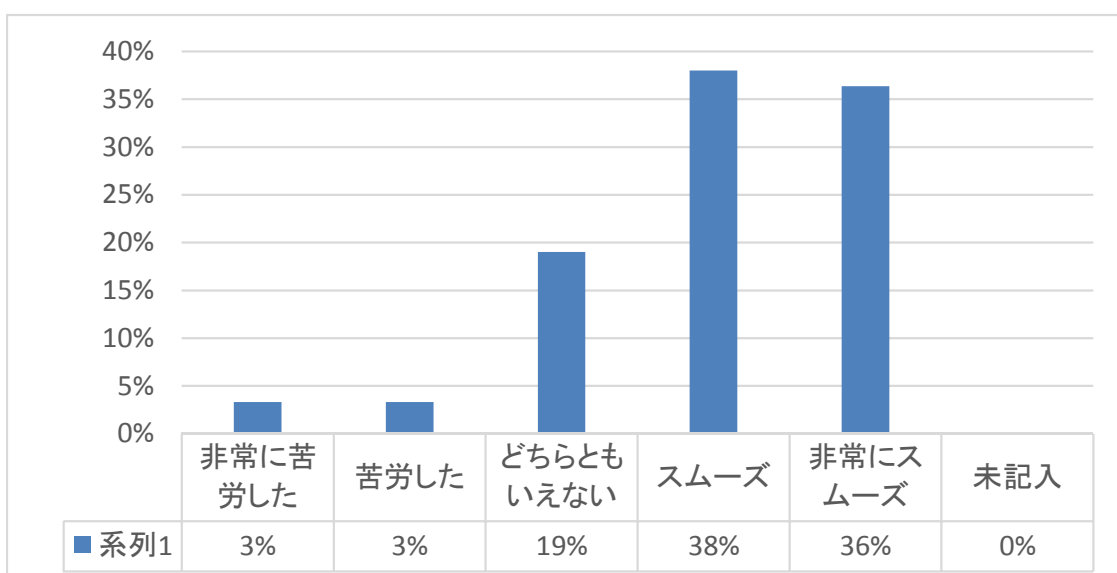
2. 施設の使いやすさはいかがですか。
また、気になるところはありますか。



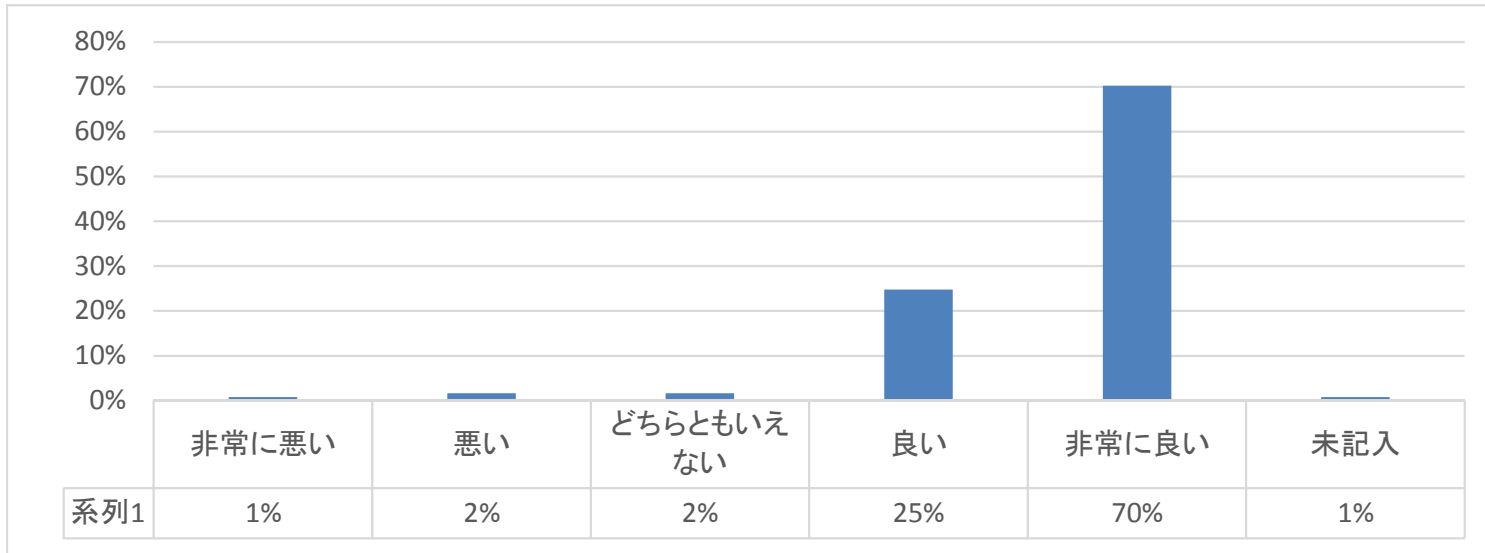
【施設の気になるところ】

- 1 利便性もよく長く使用させてもらいたい 他3
- 2 行き届いた整備に感謝している
- 3 ピアノの調律等のメンテナンス、もう少し程度のよいピアノを入れてください。他1
- 4 ピアノの位置が使いづらい
- 5 研修B、仕切りの関係で大きな声が出せない
- 6 研修Bの黒板が小さい
- 7 窓の建てつけが堅い
- 8 練習時窓の光が気になるので、何か対策を考えていただけるとうれしいです。
- 9 トレーニングルームのプラタイルの床が冬には冷たいです。
- 10 トレーニングルームの壁面のガラス(鏡)を有効に使わせていただいています。空調・照明もよく快適に練習できます。
- 11 トレーニングルームでピアノ使用の場合、3時間の利用(アートルームの要領で)にしていただけたら
- 12 空調の温度管理が難しい 他2
- 13 冷暖房が完備されているので快適です。
- 14 夏から秋の間、蚊が多い 他1
- 15 麻雀用具が大変重く、どこかにお預かりいただくと助かります。
- 16 トイレが古くて寒い、暗い 他1
- 17 スポーツ広場について6,7月は、17:00~19:00も使えるとありがたいです。
- 18 スポーツ広場のコンクリ地面のひび割れ、傷みについて 他4
- 19 テニスコートの周辺が狭い、他5
- 20 16号側のネットを高くしてほしい
- 21 雨天時すべる。前日が雨の場合、使用できない
- 22 夜間ライト
- 23 壁打ちの開放
- 24 広場から見える時計の時間のずれ、毎年書いていますが、直りませんか？
- 25 テニスボールを新しくして 他3
- 26 使えないボールを処分

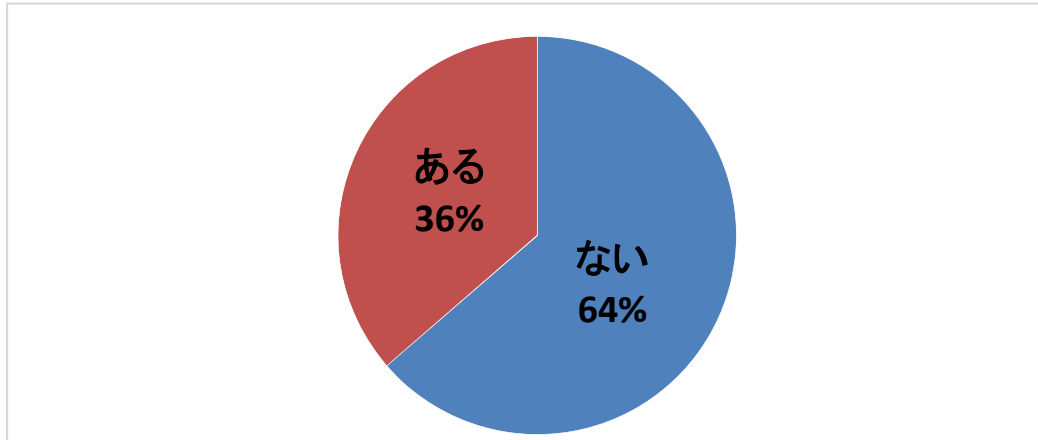
3. 利用する際の手続きや申請の方法などはいかがですか。



4. 窓口での対応はいかがですか。



6. 社会教育コーナー主催の講座に参加したことがありますか。



【講座名】

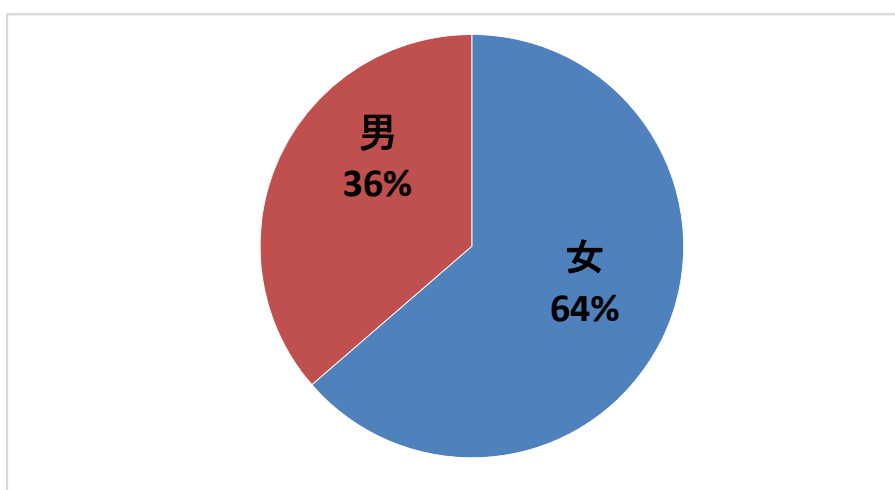
おとなのフォークソング部 2
 手芸 2
 盆栽
 英会話 3
 ボイストレーニング
 映画音楽を日本語でうたおう
 絵画教室 4
 図書修理

7. その他、当施設についてご意見・感想がありましたらお書きください。

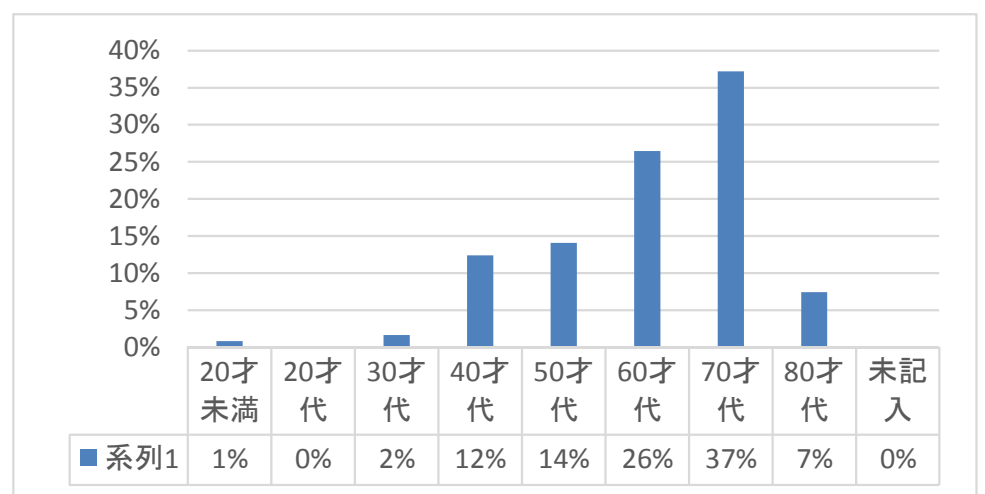
- ① いつも気持ちよく使わせていただいています。他13
- ② もう少し親切丁寧な対応をして頂きたい。その都度きちんと説明していただきたい
- ③ 経営団体が変わらないで欲しい
- ④ 今回のモチーフ懇談会についての報告をいただき、私のグループ全員に、詳細についてお知らせできました。
- ⑤ 施設利用の申請について改善をお願いしたい 他8
- ⑥ 終了時刻の少なくとも5分前に退室してもらえると、入るときにスムーズなので、お願いします。
- ⑦ 100円コーヒーで休憩時間の話が弾み、楽しみの一つです。ありがとうございます。他1

回答者情報 11/1～12/3まで 121の利用団体にアンケートのご協力をいただきました

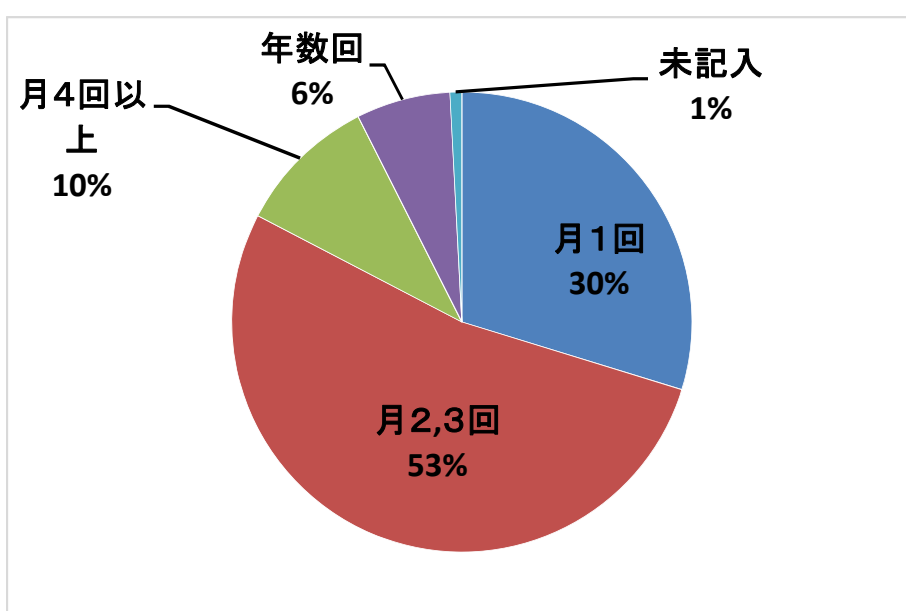
性別



年代



施設利用回数



お住まい

